

警城時報

本報社 石城郡平野町新田
電話 八八八 八八九 八九〇
印刷 石城郡平野町新田
印刷所 石城郡平野町新田
電話 八八八 八八九 八九〇
代印 石城郡平野町新田
電話 八八八 八八九 八九〇
代印 石城郡平野町新田
電話 八八八 八八九 八九〇

内郷村長の所爲に對し

異議申立の訴願

選舉の自由公正を害したと 七日附で知事に提出

過般の縣會議員選舉に際し内郷村長野木龜之助氏が投票場の混雑を防ぐため同村を區分し投票時間に制限を加へたので問題を惹起した事既報の如くであるが之に對し同村大字白水字濱井場筒井繁雄、同村大字宮巻幡常六の兩名は七日附で伊東縣知事に對し左の如き異議の申立ての訴願書を提出した。

縣會議員選舉異議申立

一、昭和二十二年九月二十五日執行せられたる福島縣會議員選舉に際し石城郡内郷村投票場に於て爲したる投票は選舉の規定に違反したるものと認むるを以て無効の決定を與へらるん事を求む

二、異議申立人は福島縣會議員の選舉権及び被選舉権を有する石城郡内郷村公民なり

三、昭和二十二年九月二十五日執行せられたる福島縣會議員選舉投票管理若しくは内郷村長野木龜之助は同月二十二日村内各大字に左の告示を爲したるのみならず區長をして選舉有権者を戸別の訪問せしめ告示の趣旨を注意せしめたり

一、選舉入場券は必ず持参すること

二、選舉の番號を覺える事

三、規定は午後六時迄なるも成

白井遠平翁

從五位に叙せらる

地方、國家の功勞者として

本縣農工銀行頭取白井博之氏嚴はるや特旨を以て從五位、叙せられたるが如く九日附で

午後四時東京本郷區上富土前町の邸宅で長逝したが、翁は石城地方にあつて縣會議員、代議士

の爲め或時は郡長となり地方開發のため盡瘁した外警城、入山從五位勳四等白井遠平翁の遺骸

白井家の葬儀

空前の盛葬

を豫想さる

政府が發した米價の低落を調節する意味の買上げは其方雄氏を隨へ十日來平野亭に止宿滞在中である。

十一日午前の強震

震源地は高萩沖

十一日午前十時過ぎ石城郡地方に強震あり民家では雨中の戸外に飛び出す者などあつたが、小名瀨測候所の報告によると

震源時は十一日午前十時三十分九秒一で、震源地は小名瀨南一里沖であるから次城縣高萩沖合附近であらう、震動

は地震計の針が外れたため金く判明しない。水戸、宇都宮、福島等各方面よりの報告によ

る石城郡が最も激震であつたやうである。云々

天狗連出願

狩獵免狀下附願受附を開始した

十日平警察署へ第一番に願ひ出たのは管内小名瀨町定西笠原丑松(三等)と平野町下川原山謙(二等)の兩名が皮切りで十時迄に十三名を受付けたが、さて斯うした好獵家の目ざす鳥類の種は、鹿、渡邊、豊間地方の山鳥は例年に比し繁殖状態頗る良好にて開禁後の收穫は上々吉なべしと言はれ、また入道野澤渡、三坂方面の鴨、雉子等も各所に密集してゐると言へば他地方からも多少の天狗押し寄せ来るべく同地方の獵期明けは相當の賑はひを呈するであらうと

産婆會役員

伊ハキ産婆同好會發會式は十日午後一時舉行した事既報の如くであるが役員左の如く決定した。

會長 清野キヨ ▲幹事 平野町關口エツ、吉田ヨリ、好間村木田ヨ、湯本町樋口ヨ

一、手荷物は三貫匁迄無償、三貫匁以上一貫匁毎に一里につき十錢

一、二人挽は倍額とす

一、平野から各町に至る料金は、二丁目、五丁目、大工町、檜垣小路、南町、三十五錢、新川町、古銀治町、七丁目、長橋町、鎌田町、月見町

一、五十錢 久保町、北目町、新町

一、湯本驛より各町に至る料金

湯本驛在所二十五錢、舊役場通三十五錢、上川踏切四十錢、入山四坑踏切五十錢

一、小名瀨町中島から各町への料金

一、二十五錢 竹町、湯本軌道停留所、新町駐在所

一、三十五錢 米野、築港

印刷物は 加納活版所

第二回關東北庭球大會

十六日湯本町で警城炭礦庭球部主催第二回關東北庭球大會は来る十六日湯本町天王崎、青年俱樂部コートに於て花々しく行はれるが、前年度の優勝チーム東鐵の阿部、奥津組その他遠隔の強チーム日立、東電、仙鐵、仙臺高工等も集まることが、當日の盛況を豫想されてゐる。

改正した人力車料金

平人力車組合では今回料金を制定し十一月平野に届け出た。一、乗客一人につき一里六十錢、市街地は五町未満二十五錢、十町同三十五錢、十五町同四

夏井發電所

八日から通水

二本松電氣株式會社の石城郡夏井川發電所は過般竣工先月二十日付け認可されたが去る八日から通水を開始した。

十七日松ヶ岡公園で

民政黨大勝祝賀會

盛大な園遊會を開く

過般縣會議員選舉に際して候補程度を具備してゐなかつた三名を推し三名共當選した民政黨石城支部では同黨として嘗てない好成绩を収めたものであつたとして十七日午後一時から平野町松ヶ岡公園に於て大勝祝賀會の大園遊會を開く事になつたが、當日大島支部長、釘本幹事長、比佐、菅村兩代議士等來平する

道路工事入札

平野町役場では舊城跡地内二百間の道路改修を行ふ事となり十一日入札を行つた結果橋樑小路前澤文太郎氏に六百二十圓で落札した

壹圓高値

政府が發した米價の低落を調節する意味の買上げは其方雄氏を隨へ十日來平野亭に止宿滞在中である。

出獄後

平地方をつくる男
拘留に處する

神社々頭で行はれたが、來賓百餘名、修成に式を始め降神、供饌、祝詞、撒鹽、四方幣、五穀供饌、神酒供饌、製木之儀、墨掛、新立、清餉、撒餅、玉串奉所不定樞村辰之助(三八)は前科、昇補等の諸儀を古式で行ひ四犯を有するもので本年二月水退下した。

八代家の盛葬

東京 戸刑務所を出獄したものであるが、二月以來何等の職業も住所もなく平町附近を徘徊してゐる朝日新聞主任八代公行氏母堂や事を平署で探知し十一日午前六時子氏の葬儀は既報の如く昨十日頃平署待合室で引捕へ目下取日午後三時より石城郡鹿島村の

創業三十週年紀念賣出し中御後

◆特賣

トシカツレツ 各十五錢
メンチカツレツ 各十五錢
ライスカレー 其他相應 じて格安

松茸フライ

品 三十錢
十一月一日から相始め申候

洋式宴會 一の井

平町田町(電話一六七番)

調中であるが、重大犯人らしい與濟寺に於て執行したが會葬者處がある。

住吉神社祭

飯野村住吉神社の例祭は十三日執行されるが當日は青年團で大角力を催す。

子鉄倉神社

新始祭執行

縣社子鉄倉神社新築の新始式は野刑事事であるから後程届けると既報の如く十日午前十時から同昨はり踏み倒した事平署に探知

落盤で壓死

湯本町入山炭礦後山夫大橋省(二二六)は八日午後十時半頃同坑第五坑に入坑作業中落盤のため重傷を負ひ生命危篤である。

陪審員資格者

平町の陪審員資格者(その七)

南町、龜山晴次、鈴木森太郎、大泉信雄、田中慶吉、西牧與八、宇佐見甚藏、原野丑次郎、只野忠康、藤田齊記、小沼辰次郎、長谷川辰之介、沼田仙太郎、齋藤寅吉、橋本喜七、山下捨吉、岡山克己、大島健三、岡田政次郎、鈴木次郎、鈴木重太郎、鈴木彌太郎、眞木隆四郎、馬目徳三郎、齋藤鐵次郎、佐藤金藏、佐川三良、佐川泰榮、青木秀次、清野儀重、芹澤忠次郎、水津宗次郎、山下芳明、仲居富十、高橋利二郎、田口平藏、吉田昌弘、吉野禮泰、大谷傳三郎、大谷直次郎、岡田長太郎

後備入管通信 (第七信) 麥人生
日曜だ、始めて外出を許可される、朝八時を待ち兼ねる様にして、一同放たれた小鳥の如く營門を飛び出す。
目的もなければ行先も決まらずに居ない、只々營門を出て一日自由を得られると云ふ事が嬉しいのだ、市内をやらに歩いて半日を過ぎ、午後食べたい物、飲みたい物をつめ込んで、氣持で歸る。
夜は班内で外出先の出来事をお互ひ誇張して面白く話し合つては笑ひこけてゐる、眞に廿幾歳の子供だ。
入營して十一日、丁度半分だけ暮らして仕舞つた、あこは下り飯だ、無事に歸郷したいと皆で話してゐる。

電話六一五番

岡山寫眞館



平町正 停車場 通堂

なべ焼うどん

例年の通り 本日からはじめました
遠近多少にかゝりわらず出前迅速に致します
平町二丁目横丁(郡役所通)

藤寅

電話(呼出)三〇五番

関内薬局 薬剤師 関内栄助
平四 電話四〇番

簡易の金融—誠意と堅實—趣味の貯蓄—共存と共榮
大藏省 免許 磐城無盡商會
本店 植田町本丁 支店 平町中丁

最新滋強 回春劑 ビーナス 定價 三圓 五圓 拾圓 廿圓
適應症 (腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等)
平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局

女學生同居者希望 三年生以上 貳人
裁縫及女學校生ニテ朝夕家事手傳 自炊生活同様ニテ通學希望者
問代不要—委細面談
平紺屋町 加納テウ

靴とかばん 福山靴店
御注文は特に勉強 既成品も豊富にあります
平町搔搔小路(役場前)

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒 栗守酒
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は睡眠の助力
栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電六二四)

スポンジ 強壯第一 血をふやし 肉を肥やす
代店 野山 藥局 平町五丁目角